

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用\_コロナ対策版)**」、フォルダ「**危機管理学部**」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT2602		
科目名	危機管理基礎演習Ⅱ		
担当教員	茂田 忠良		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	火 3		
講義室	1314	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基幹		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ DPコード：学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連</p> <p>DP2-A [日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢] 地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。</p> <p>DP1-E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し 利用することができる。</p> <p>DP4-F [探究力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。</p> <p>DP3-H [論理的思考力・批判的思考力] 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。</p> <p>DP4-I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。</p> <p>DP6-K [表現力・対話力] 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。</p> <p>■ CRコード：学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (CR) との関連</p> <p>A1 グローバル感覚 (10%)  E1 学識と専門技能 (10%)  F1 探求と論拠 (20%)  H1 論理的思考 (15%)  I1 理解・分析と読解 (15%)  K1 ライティング・コミュニケーション (15%)  K2 オーラル・コミュニケーション (15%)</p>		
教員の実務経験	<p>警察庁採用Ⅰ種 (現総合職) 職員として34年余の警察官や公務員としての実務経験を有しています。その中で、県警察本部長などの立場で様々な危機的状況、謂わば「修羅場」を経験してきたが、その体験を踏まえて危機的状況における対処で最も重要な「即座の判断力」の基礎を養成するべく、教授します。(第4、7、8、15回)</p>		
成績ターゲット区分	<p>■ 成績ターゲット：能力開発の目標ステージとの対応</p> <p>2 進期期 ~ 3 発展期</p>		
科目概要・キーワード	<p>危機管理に関する多様な研究領域の中から、学生個人がそれぞれ1つの研究テーマを構築するために必要な、危機管理に関する基礎的な演習を行います。危機管理学の専門基幹科目における法学科目や、専門展開科目における災害マネジメント領域、ハブリックセキュリティ領域、グローバルセキュリティ領域、情報セキュリティ領域の4領域の危機管理系科目を担当する教員が担当し、それぞれの研究領域における研究の手法について指導します。ここでの学び</p>		

	<p>が、3年次以降のゼミナールや危機管理特殊研究でのより専門的な研究活動へとつながります。本科目では、専門的研究のテーマに基づいて、研究計画を構築し、プレゼンテーションを実施します。</p> <p>授業形式は演習形式により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（ライブ型及びオンデマンド型）を取り入れます。</p> <p>■ キーワード： 危機管理、集団検討、危機管理特殊研究への橋渡し</p>								
<p>授業の趣旨</p>	<p>■ 副題 読書を通じた危機対処に必要な「人間の軸」作り</p> <p>■ 授業の目的 教員の警察官・公務員としての実経験によれば、現実の危機対処で最も重要なのは「即座の判断力」であり、その基盤は「人間としての軸」、広義の価値観である。日本の近現代の実相について学修し、その価値観の基礎を形成する。併せて、読書力、作文力、会議での発言力を獲得する。</p> <p>■ 授業のポイント 履修者は、課題本を事前に読んで、演習当日に感想文を提出すると共に、本の内容について討議を行う。課題本は、日本の近現代の実相が理解できる名著を6冊程度指定します。</p>								
<p>総合到達目標</p>	<p>■ 「人間としての軸」の基礎となる日本の近現代史の特色を説明できるようになる。具体的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 西洋帝国主義の前提としての奴隷貿易と奴隷制プランテーションについて説明できるようになる。(第2, 3回)</li> <li>・ 日本の精神文化や代表的偉人について説明できるようになる。(第5, 6, 7, 8, 9, 10回)</li> <li>・ 第二次世界大戦について日本の立場を説明できるようになる。(第11, 12回)</li> <li>・ 日本の国土が日本の国民性に与えた影響について説明できるようになる(第13, 14回)</li> </ul> <p>■ 読書力、作文力、会議での発言力を身に付ける。</p>								
<p>成績評価方法</p>	<p>■ レポート(感想文) 4回(40%)：適用ルーブリックA1・E1・F1・H1・I1・K1 (評価の観点) 課題本の読書を基に、論理的で明晰な文章が書けているか、を評価します。(フィードバック方法) その都度添削して返還します。</p> <p>■ 授業参加度(発言等) (60%)：適用ルーブリックA1・E1・F1・H1・I1・K2 (評価の観点) 課題本を読んだ上で、自分の意見を積極的・論理的に発言出来ているか、を評価します。また、レポート非提出回は短文(感想文)の事前提出を求め、演習準備の状態を確認します。 (フィードバック方法) 授業のその場で、フィードバックします。</p>								
<p>履修条件</p>	<p>特にありません。</p>								
<p>履修上の注意点</p>	<p>19世紀20世紀の世界史と日本史について基礎的知識を有していることが望ましい(高校の日本史と世界史の教科書～日本史は江戸時代以降、世界史は大航海時代以降～を読み直しておくことが望ましい)。</p>								
<p>授業内容</p>	<p>各回の演習の実際については、受講生の能力、研究の進捗等を勘案して、柔軟に対応します。</p> <table border="1" data-bbox="464 1384 1489 2157"> <thead> <tr> <th data-bbox="464 1384 517 1435">回</th> <th data-bbox="517 1384 1489 1435">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="464 1435 517 1704">1</td> <td data-bbox="517 1435 1489 1704"> <p>①授業テーマ 導入</p> <p>②授業内容 教員と受講生全員が自己紹介し、それぞれ抱負を述べる。教員から、当授業の進め方、何を学ぶか、どのように研究を進めるか、レポートの書き方、評価方法について説明します。</p> <p>③予習(240分) 自己紹介メモを作成して事前にClassroomで提出する。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1704 517 1973">2</td> <td data-bbox="517 1704 1489 1973"> <p>①授業テーマ ジャン・メイエル著『奴隷と奴隷商人』(1)第1～7章</p> <p>②授業内容 本書について、当初受講生4人程度が導入発言を行い、その後、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べあう。奴隷貿易の実態と世界に与えた影響について説明できるようになる。(A1・E1・F1・H1・I1・K1・K2)</p> <p>③予習(240分) 本書第1～7章を読んで、感想をまとめる。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1973 517 2157">3</td> <td data-bbox="517 1973 1489 2157"> <p>①授業テーマ ジャン・メイエル著『奴隷と奴隷商人』(2)資料編</p> <p>②授業内容 本書について、当初受講生4人程度が導入発言を行い、その後、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べあう。奴隷制度の影響、特に米国に与えた影響について説明できる</p> </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	<p>①授業テーマ 導入</p> <p>②授業内容 教員と受講生全員が自己紹介し、それぞれ抱負を述べる。教員から、当授業の進め方、何を学ぶか、どのように研究を進めるか、レポートの書き方、評価方法について説明します。</p> <p>③予習(240分) 自己紹介メモを作成して事前にClassroomで提出する。</p>	2	<p>①授業テーマ ジャン・メイエル著『奴隷と奴隷商人』(1)第1～7章</p> <p>②授業内容 本書について、当初受講生4人程度が導入発言を行い、その後、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べあう。奴隷貿易の実態と世界に与えた影響について説明できるようになる。(A1・E1・F1・H1・I1・K1・K2)</p> <p>③予習(240分) 本書第1～7章を読んで、感想をまとめる。</p>	3	<p>①授業テーマ ジャン・メイエル著『奴隷と奴隷商人』(2)資料編</p> <p>②授業内容 本書について、当初受講生4人程度が導入発言を行い、その後、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べあう。奴隷制度の影響、特に米国に与えた影響について説明できる</p>
回	内容								
1	<p>①授業テーマ 導入</p> <p>②授業内容 教員と受講生全員が自己紹介し、それぞれ抱負を述べる。教員から、当授業の進め方、何を学ぶか、どのように研究を進めるか、レポートの書き方、評価方法について説明します。</p> <p>③予習(240分) 自己紹介メモを作成して事前にClassroomで提出する。</p>								
2	<p>①授業テーマ ジャン・メイエル著『奴隷と奴隷商人』(1)第1～7章</p> <p>②授業内容 本書について、当初受講生4人程度が導入発言を行い、その後、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べあう。奴隷貿易の実態と世界に与えた影響について説明できるようになる。(A1・E1・F1・H1・I1・K1・K2)</p> <p>③予習(240分) 本書第1～7章を読んで、感想をまとめる。</p>								
3	<p>①授業テーマ ジャン・メイエル著『奴隷と奴隷商人』(2)資料編</p> <p>②授業内容 本書について、当初受講生4人程度が導入発言を行い、その後、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べあう。奴隷制度の影響、特に米国に与えた影響について説明できる</p>								

	<p>ようになる。(A1・E1・F1・H1・I1・K1・K2)</p> <p>③予習(240分) 本書資料編を読んで感想をまとめると共に、本書全体について感想文を作成して事前にClassroomで提出する。</p>
4	<p>① 授業テーマ 『イスラエル事情』</p> <p>② 授業内容 担当教員の実務経験(イスラエル駐在)を踏まえて、イスラエル事情について討議する。イスラエルは究極の危機管理国家とも言われるが、履修生は、ユダヤ人の建国したイスラエルという国家の価値観や特徴を理解することによって、世界の多様性について説明できるようになる。(A1・E1・F1・H1・I1・K1・K2)</p> <p>③ 予習(240分) 担当教員の作成する『イスラエル事情』についての講義動画を事前に視聴して、イスラエルとユダヤ人について考察しておく。</p>
5	<p>①授業テーマ 内村鑑三著『代表的日本人』(1)第1、2章</p> <p>②授業内容 本書について、当初受講生4人程度が導入発言を行い、その後、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べあう。西郷隆盛と上杉鷹山の人となりについて説明できるようになる。(A1・E1・F1・H1・I1・K1・K2)</p> <p>③予習(240分) 本書(西郷隆盛と上杉鷹山)を読んで、感想をまとめる。</p>
6	<p>①授業テーマ 内村鑑三著『代表的日本人』(2)第3、4章</p> <p>②授業内容 本書について、当初受講生4人程度が導入発言を行い、その後、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べあう。二宮尊徳と中江藤樹の人となりについて説明できるようになる。(A1・E1・F1・H1・I1・K1・K2)</p> <p>③予習(240分) 本書(二宮尊徳と中江藤樹)を読んで感想をまとめると共に、本書全体について感想文を作成してClassroomで事前に提出する。</p>
7	<p>①授業テーマ 新渡戸稲造著『武士道』(1)第1～9章</p> <p>②授業内容 本書について、当初受講生4人程度が導入発言を行い、その後、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べあう。武士道の特質について説明できるようになる。(A1・E1・F1・H1・I1・K1・K2)</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて、『武士道』の精神が危機対処においてどのように効果を発揮するか説明します。</p> <p>③予習(240分) 本書第1～9章を読んで、感想をまとめる。(難しく感じる人は、第3～9章を優先して読むこと)。</p>
8	<p>①授業テーマ 新渡戸稲造著『武士道』(2)第10～17章</p> <p>②授業内容 本書について、当初受講生4人程度が導入発言を行い、その後、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べあう。武士道の特質について説明できるようになる。(A1・E1・F1・H1・I1・K1・K2)</p> <p>担当教員の実務経験を踏まえて、『武士道』の精神が危機対処においてどのように効果を発揮するか説明します。</p> <p>③予習(240分) 本書第10～17章を読んで感想をまとめる(難しく感じる人は、第10～14、16章を優先して読むこと)。本書全体について感想文を作成してClassroomで事前に提出する。</p>
9	<p>①授業テーマ 『442日系部隊』日系人戦闘部隊(1)</p> <p>②授業内容 日系米国人で構成された「100大隊/442連隊戦闘団」について討議する。米国という人種差別社会と戦場において、442連隊の日系人を支えた価値観・精神について、説明できるようになる。(A1・E1・F1・H1・I1・K1・K2)</p> <p>③予習(240分) 教員の解説と本DVD前半を視聴した上で、日系人の価値観や精神を考えておく。</p>

	<p>①授業テーマ 『442日系部隊』日系人戦闘部隊（2）</p> <p>②授業内容 日系米国人で構成された「100大隊/442連隊戦闘団」について討議する。日系米国人の価値観・精神の理解を基礎に、日本人の価値観・精神について、説明できるようになる。（A1・E1・F1・H1・I1・K1・K2）</p> <p>③予習（240分） 教員の解説と本DVD後半を視聴した上で、日本人の価値観や精神について考えておく。</p>
	<p>①授業テーマ 中條高德著『おじいちゃん戦争のこと教えて』（1）第Ⅲまで</p> <p>②授業内容 本書について、当初受講生4人程度が導入発言を行い、その後、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べあう。著者の中條高德氏の立場に立って戦争の本質を説明できるようになる。（A1・E1・F1・H1・I1・K1・K2）</p> <p>③予習（240分） 本書の最初から第Ⅲを読んで、感想をまとめる。</p>
	<p>①授業テーマ 中條高德著『おじいちゃん戦争のこと教えて』（2）第Ⅳ～最後</p> <p>②授業内容 本書について、当初受講生4人程度が導入発言を行い、その後、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べあう。著者の中條高德氏の立場に立って戦後日本の在り方を説明できるようになる。（A1・E1・F1・H1・I1・K1・K2）</p> <p>③予習（240分） 本書の第Ⅳ～最後まで読んで感想をまとめる。本書全体について感想文を作成して事前にClassroomで提出する。</p>
	<p>①授業テーマ 大石久和著『国土が日本人の謎を解く』（1）序章～3章</p> <p>②授業内容 本書について、当初受講生4人程度が導入発言を行い、その後、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べあう。日本の国土の特質を他国との比較で説明できるようになる。（A1・E1・F1・H1・I1・K2）</p> <p>③予習（240分） 本書の序章～3章まで読んで、感想をまとめる（全部読むのが困難な者も序章、第2、3章は必ず読むこと）。</p>
	<p>①授業テーマ 大石久和著『国土が日本人の謎を解く』（2）第4～7章</p> <p>②授業内容 本書について、当初受講生4人程度が導入発言を行い、その後、全員でそれぞれ論点に沿って所見を述べあう。日本の国土の特質が国民性に与えた影響を説明できるようになる。（A1・E1・F1・H1・I1・K1・K2）</p> <p>③予習（240分）本 本書の第4～7章まで読んで感想をまとめる（全部読むのが困難な者も第4～6章は必ず読むこと）。本書全体について感想文を作成して事前にClassroomで提出する。</p>
	<p>①授業テーマ まとめ</p> <p>②授業内容 受講生全員が本授業で何を学んだか、発表を行う。 担当教員の実務経験を踏まえて、受講生のそれぞれの学びと危機対処の関連についてコメントします。</p> <p>③予習（240分） 課題本全体を振り返り、本授業で自分は何を学んだか考察する。</p>
<p>関連科目</p>	<p>危機管理特殊研究1（RMGT4541）・危機管理特殊研究2（RMGT4542）・危機管理特殊研究3（RMGT4543）・危機管理特殊研究4（RMGT4544） 危機対処に有益な世界観を知るために、インテリジェンス論1（RMGT3527）・インテリジェンス論2（RMGT3534）とも関連します。</p>
<p>教科書</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ジャン・メイエール『奴隷と奴隷商人』（平凡社、1992年）（絶版のためコピーを配布する）</li> <li>・ 内村鑑三『代表的日本人』（岩波文庫、2012年）</li> <li>・ 新渡戸稲造『武士道』（PHP文庫、2005年）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中條高德『おじいちゃん戦争のこと教えて』（小学館文庫、2002年）</li> <li>・ 大石久和『国土が日本人の謎を解く』（産経新聞出版、2015年）</li> </ul>
参考書・参考URL	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハインリッヒ・シュリーマン『シュリーマン旅行記 清国・日本』（講談社学術文庫、1998年）</li> <li>・ 佐藤智恵『ハーバード日本史教室』（中公新書ラクレ、2017年）</li> <li>・ 渡辺京二『逝きし世の面影』（平凡社ライブラリー、2005年）</li> </ul>
連絡先・オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 連絡先 開講時に告知します。</li> <li>■ オフィスアワー 水曜3限。それ以外の時間については、メール等で事前にアポイントをとることにより研究室で対応します。</li> </ul>
研究比率	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 危機管理領域との対応 災害マネジメント23%；パブリックセキュリティ31%；グローバルセキュリティ23%；情報セキュリティ23%</li> <li>■ 危機管理と法学のバランス 危機管理学95%；法学5%</li> </ul>

